

# 調布市消防団 広報誌

# CVFB

CHOFU CITY VOLUNTEER FIRE BRIGADE



平成29年（2017年）1月8日 通刊第8号 発行／調布市消防団事務局 東京都調布市小島町2-33-1 文化会館たづくり西館3階 総合防災安全課内 TEL 042-481-7348

第8号



## CONTENTS

第1分団紹介&インタビュー	P2
調布市総合防災訓練	P3
第15分団消防ポンプ車更新	P3
平成29年 行事予定	P4
第30回消防団員意見発表会入賞	P4
第68回日本消防協会定例表彰を受章	P4

調布市消防団は、本部及び15個分団体制で消防団長以下304名により構成されており、普段は自営業やサラリーマンなどの生業を営みながら、消防団活動を行っています。  
団員は、火災や河川の氾濫、地震などの災害時に市民の皆様の安全・安心を守るために、日夜訓練・活動に取り組んでいます。

近年の消防団を取り巻く環境は、地震や台風等の自然災害の大規模化、更には予想しがたい災害事案も発生し、新たな対応力が求められております。そのような状況のなか、消防団の役割は層重要となり、調布市民の安全・安心を守るその職務の重責を改めて肝に銘じたところであります。我々消防団は、今後起こりうる自然災害に対峙していくために、これまで以上の訓練を重ね、いざという時に迅速かつ的確に災害対応ができるよう、努力と研鑽に努めてまいります。

そして、「郷土愛護」の精神を強くもち、より地域に根差した消防団を目指してまいります。

結びに、市民の皆様におかれましては、調布市消防団へのより一層の御理解と御協力を賜りますようお願いを申し上げますとともに、皆様の今年一年が、より佳き年になるよう心より御祈念いたします。新年の挨拶とさせていただきます。



### 調布市消防団長 永易正敏

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。平素より調布市消防団の活動に御理解と御協力をいただき深く感謝申し上げます。また、日頃我々消防団員を陰で御支援いただいている御家族の方々に対しまして心より御礼申し上げます。

さて、昨年4月14日には熊本県を中心とした大規模な地震が発生し多くの尊い命が失われました。また、8月には東北北海道地方に台風が立て続けに上陸し、甚大な被害をもたらしました。災害によつて、避難生活を余儀なくされた方も多くいらっしゃいます。お亡くなりになられた方の御冥福をお祈り申し上げますとともに、御遺族の皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。また、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。



第1分団紹介&インタビュー

調布市の各地域を担当する分団の紹介&インタビューです。今号から1個分団ずつ、活動写真と消防団員の皆さんのインタビューにより紹介していきます。



機関長 田邊 純さん

Q: 消防団に入団したきっかけを教えてください

A 飲食店をやっているのですが、その店舗が急遽修理をしなければならなくなり、近くの工務店の方に工事をお願いしました。その工務店の方が、当時の分団長で、勧誘を受けたのがきっかけです。

Q: 消防団の活動について教えてください

A 夜間の仕事ですので、夜間の消防団の活動には、あまり参加できていませんが、昼間の訓練や地域の行事などには、できるだけ参加するようにしています。分団自体は、操法大会に向けての訓練で団員が団結し、がんばっております。

Q: 日々の消防団活動をどのように感じていますか

A 地域の安全を守る活動ですので、消防団活動にはやりがいを感じています。自分自身、消防の技術がまだまだですので、これからも消防団活動の中でもっと技術を身につけなければと感じています。

Q: 消防団の活動の中で印象に残っていることはありますか

A 調布飛行場から飛び立った小型機の墜落事故の火災です。自分は現場に着くのが遅れましたが、たいへんな猛暑で倒れ込んでいる団員もいて過酷な事故火災でした。



部長 野口 康平さん

Q: 消防団に入団したきっかけを教えてください

A 地域で仕事をするようになり、地域の役に立つことをしたいと思っていたのがきっかけです。また父が消防団員だったことも入団した理由です。

Q: 日々の訓練(操法訓練等)、機械器具点検について教えてください

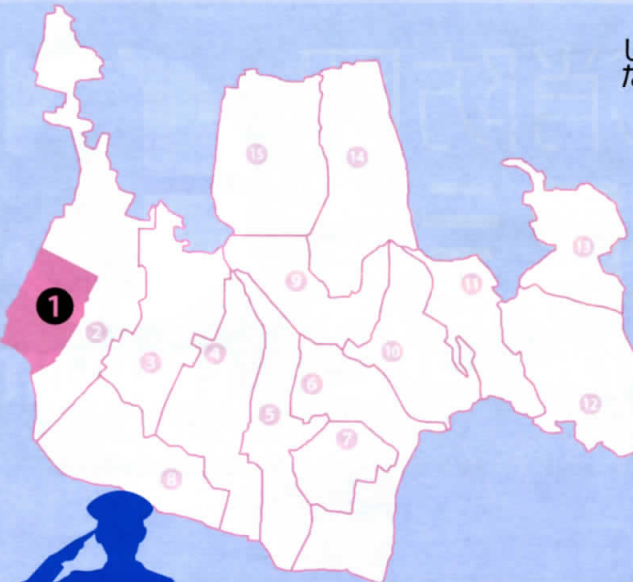
A 日々の訓練は、みんなの立場がありますが、みんなが一つに向かって行動する大切な時間だと思います。また、機械器具点検は毎月行っており、消防団員の先輩が後輩に様々なことを“伝える”大切な時間だと思っています。

Q: 消防団の魅力ややりがいについて教えてください

A 警戒活動などで、地域の方から「御苦労さま」と言われた時にやりがいを感じます。

Q: 消防団の活動の中で印象に残っていることはありますか

A 初めて選手として出場した操法大会が印象に残っています。一番員で貴重な体験、経験をし、分団の大切さを知りました。



分団長 高花 明宏さん

Q: 消防団に入団したきっかけを教えてください

A 父が消防団員だったこともあり、声を掛けていただいたのがきっかけです。自分に務まるのか不安もありましたが、地元の仲間として、温かく迎え入れていただきました。

Q: 消防団として、地域での活動を教えてください

A 火災時の消火活動が主となります。それに備えて、消防自動車を使用した放水訓練や町内に点在する消火栓の点検等を行っています。また、地元地域の防災訓練はもとより、例大祭の警戒や運動会のお手伝いもさせていただいています。

Q: 消防団に入団して、御自身に変化はありましたか

A 同じ町内に住んでいても知らない人がいます。そんな人たちと仲間になりました。年齢も職業も違う仲間たちから教えられることは多く、物事に対する様々な考え方を学びました。

Q: 地域、そして市民のみなさんにどんなことを伝えたいですか

A 消防団がどんなところかよく解らない方も多いと思います。以前の私もそうでした。私たちは特別な資格を持っているわけではなく、皆さんと同じ町に住み、普通に仕事をしています。そして、有事の際には消防自動車に乗って、災害現場に駆け付け、消火・救助活動を行います。地域活動は、時に、わずらわしく思えることもありますが、生活に張りを与え、充実感を満たしてくれます。みなさんも、ぜひ消防団へ参加してください。



消防団の特徴とは?

消防団は日々訓練を行いながら、災害に備えて鍛錬を積んでいます。消防団の特徴を生かし、地域の災害対応にあたっています。



- ①消防団員は、生業を営みながら活動しています。  
消防団員は、普段自営業やサラリーマンなどの生業を営みながら、消防団活動を行っています。
- ②消防団は、災害に備え、訓練・研修・警戒活動を行っています。  
消防団員は、文化財防火演習、基本操法訓練、総合水防訓練、総合防災訓練、震災消防訓練など、災害に備え様々な訓練を行っています。また、災害の防止に向け、警戒活動も行っています。
- ③消防団は、地域に密着した活動ができます。  
消防団は、自分の地域は自分で守るという「郷土愛護」の精神のもと活動しています。自分達の地域の特性や情報に詳しく、いち早く災害現場に駆け付けることができ、災害対応にあたる事ができます。また、地域防災訓練への協力や、祭礼の警戒も行っています。



平成28年度本部役員及び第1~15分団長 (調布消防署長、調布市長らとともに)



## 倒壊家屋からの救出訓練

倒壊家屋に逃げ遅れた怪我人がいることを想定し、倒壊家屋の屋根をチェーンソーで切断し、怪我人を救出する訓練です。



救助資機材車とポンプ車で出動



倒壊家屋の屋根から救助



倒壊家屋の屋根をチェーンソーで切断し怪我人を救助する



救助した怪我人を搬送する



## 延焼阻止線設定訓練 (一斉放水)

住宅密集地にて、火災が発生し、延焼拡大を阻止するため、自治会、消防団、消防署が協力し一斉放水を行う訓練です。

一斉放水の様子



## 煙体験訓練

煙体験ハウスによる避難方法の習得を目指す訓練です。

煙体験ハウス



## 初期消火訓練

消火器やスタンドパイプを使用した、消火要領の習得を目指す訓練です。

初期消火訓練の様子



## 消防団ふれあいコーナー

消防ポンプ車の展示、子ども用防火衣を着用した記念撮影等、消防団とふれあうことができます。

消防団ふれあいコーナー



## ロープ取扱訓練

災害時等に活用できる、ロープの結び方の習得を目指す訓練です。

ロープ取扱訓練



# 調布市 総合防災訓練

平成28年10月23日(日)に多摩川左岸河川敷で、平成28年度調布市総合防災訓練を実施しました。訓練は、震災にそなえ「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域の互助精神の高揚と防災行動力の向上を図るとともに、防災関係機関との連携を強化し、災害時の迅速な応急活動態勢を整えることを目的に実施しています。調布市消防団は、主に、倒壊家屋からの救出訓練、延焼阻止線設定訓練(一斉放水)、初期消火訓練、煙体験訓練、ロープ取扱訓練、消防団ふれあいコーナーを実施しました。



調布市長から新ポンプ車の鍵を受けとる消防団長



消防団長から調布市長へ旧ポンプ車の鍵の返納

## 第15分団 消防ポンプ車更新

平成28年10月17日(月)、文化会館たづくり西館2階予防接室にて、調布市消防団ポンプ車(第15分団)の引渡式が開催されました。まず、調布市消防団から調布市に旧ポンプ車の返納が行われ、その後、調布市から調布市消防団に新ポンプ車の引渡が行われました。引渡式終了後、文化会館たづくり地下駐車場にて、新ポンプ車の検閲を行いました。新ポンプ車には、新型の電子操作盤や、充電式の高光度LED投光器を導入しました。また、消防活動資機材の積載位置を一新し、災害時の対応能力の向上を図っています。



新ポンプ車をバックに記念撮影



第15分団の更なる活躍に期待



平成29年の主な予定

- 1月8日 出初式
- 1月下旬 文化財防火演習
- 2月上旬 消防ポンプ車操縦技能講習会
- 3月1日 機械器具特別点検
- 3月1～7日 春の火災予防運動・警戒
- 4月3日 新入団員等任命式
- 4月中旬 基本操法訓練
- 4月下旬 機関員訓練・規律訓練
- 5月13日 東京消防庁第八消防方面本部・調布市合同総合水防訓練
- 7月上旬 調布市ポンプ操法大会
- 9月下旬 北多摩地区消防大会
- 10月中旬 総合防災訓練
- 11月9～15日 秋の火災予防運動・警戒
- 11月中旬 震災消防訓練
- 12月下旬 歳末特別警戒

ほか、地域の防災訓練や催事等にも参加しています。  
 (予定は変更される場合があります。各行事の詳細は消防団事務局までお問い合わせください。)

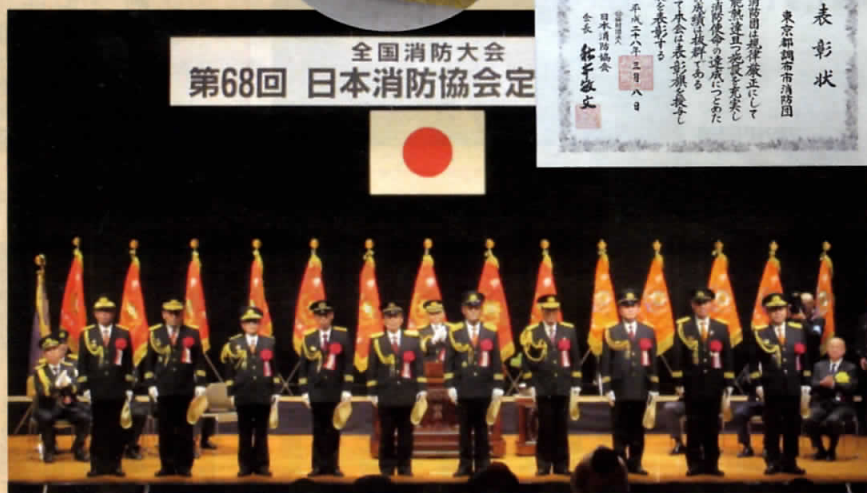


第68回日本消防協会定例表彰受章

平成28年3月8日に、調布市消防団が日本消防協会館ニッショーホールにて、第68回日本消防協会定例表彰を受章しました。調布市消防団は、規律厳正にして技術熟達し、かつ各般の施行充実し平素能く消防の使命達成に努め、その成績抜群一般の規範であると認められ、受賞にいたしました。なお、第68回日本消防協会定例表彰で表彰旗を受章したのは、東京都で調布市消防団1団のみでした。

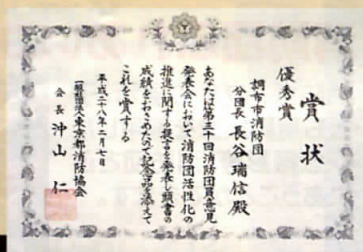


全国消防大会  
第68回 日本消防協会定



第30回消防団員意見発表会で優秀賞を受賞

平成28年2月7日に、調布市消防団第2分団長谷瑞信分団長が第30回消防団員意見発表会に北多摩地区消防団代表で出場し、優秀賞を受賞しました。その後、優秀賞受賞の功労が認められ、平成28年3月15日に東京消防庁第八消防方面本部から表彰をされました。



平成27年度  
第30回 消防団員意見発表会



防災・安全情報メール  
に登録を!

登録されたパソコンや携帯電話に下記の情報が配信されます。

- 市からのお知らせ ●気象情報
- 地震情報 ●災害情報 ●防犯情報

◇登録方法

下記アドレスまたは右のQRコードに空メールを送信して下さい。

**c-bousai@sg-m.jp**



問い合わせ：調布市総合防災安全課 042-481-7346

地震大! 家具類の転倒・落下・移動防止対策

近年発生した大きな地震で怪我をした原因を調べると、約3割から5割が、家具類の転倒・転落・移動によるものでした。家具類の転倒・転落・移動は、避難通路を塞ぎ、火災を引き起こす原因にもなります。大切な家族を守るため、対策を行いましょう。詳しくは、東京消防庁のホームページをご覧ください。お問い合わせ：調布消防署 ☎042-486-0119



東京消防 検索

東京消防庁

消防団員募集!

調布市消防団と地域のみなさまがあなたの力を待ち望んでいます!



お問い合わせ

調布市消防団事務局  
(調布市役所総合防災安全課内)

☎042-481-7348

入団資格

調布市に居住又は勤務しており、年齢18歳以上の健康な方